

経営比較分析表（令和3年度決算）

神奈川県 真鶴町

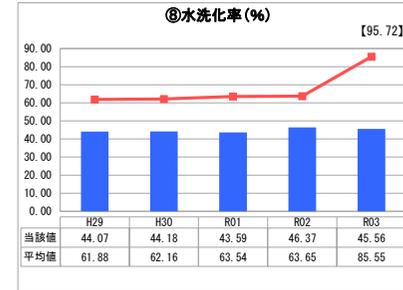
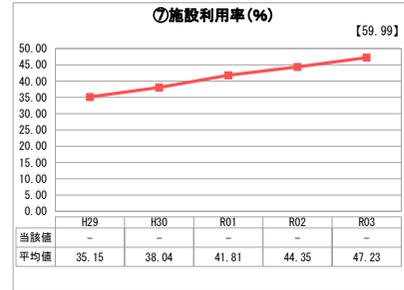
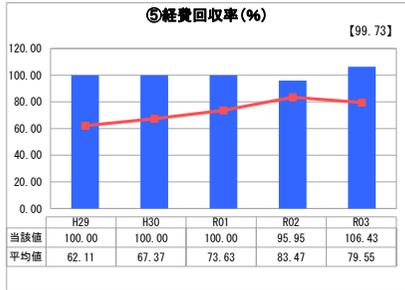
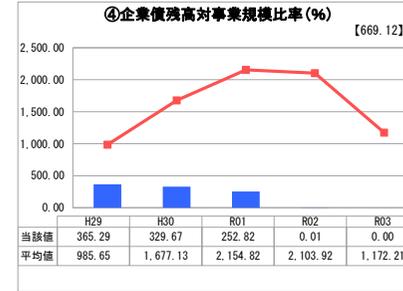
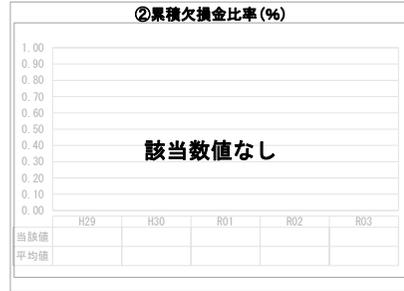
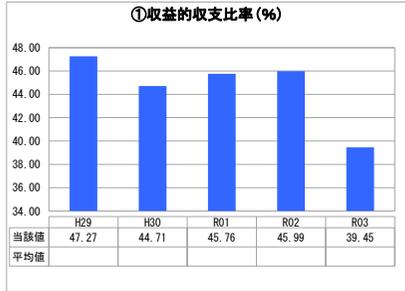
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cb2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	20.78	100.00	3,411

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
6,984	7.05	990.64
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,440	0.27	5,333.33

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

当町の下水道事業は、平成18年度からの供用開始のため、他の団体と比べ年数も浅いことから、整備普及を引き続き進めていく必要があります。

当町の下水道整備区域面積は、他団体より狭いものの、地形的に高低差が多く、狭隘な道路などにより建設改良費が割高なため資本費が著しく高額となっているため、大規模な工事も実施できず整備の進捗は緩やかです。

現在はアクションプランや経営戦略に基づいた事業計画により、効果的な面整備を展開しより多くの世帯で下水道が利用できるよう進め、併せて未接続の世帯に対して、個別訪問による勧奨やHPなどによる周知を行い普及に努めていきます。

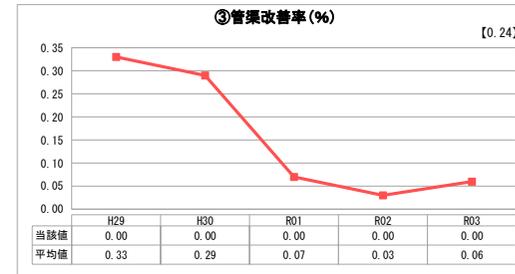
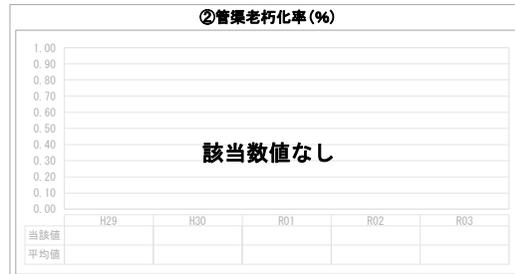
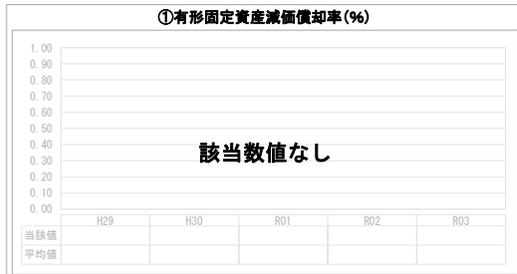
併せて、接続に結びつくような施策についても検討していきます。

2. 老朽化の状況について

当町の主な設備は、中継ポンプ場と管渠で、管渠については平成5年度から、中継ポンプ場は平成14年度からの着工であるため、耐用年数を経過しているものではなく、現時点においては、老朽化等による修繕や改修事業はない状態です。

しかしながら、耐用年数に近づく機器もあるため効率的な事業運営を図るために、ストックマネジメント計画を策定し、機器・管渠等の長寿命化と効率的な更新が図れるよう対応していきます。

2. 老朽化の状況



全体総括

当町の下水道事業は、供用を開始してまだ年数も浅いですが、今後も面整備を進め水洗化の推進を図ります。

また、未接続になっている家庭に対しても個別訪問やHPによる周知をするなどの普及活動を行い、水洗化率向上を図っていきます。

なお、使用料の見直しについては、上水道料金と併せ、おおむね3年ごとに審議会により近隣自治体の体系等や経営状況を参考に検討を図っております。

施設の老朽化に対しては、事業計画の策定に併せ、ストックマネジメント計画の策定に取り組みを進めています。

また、経営の健全性の向上や経営の計画性・透明性の向上を図るため、地方公営企業会計の適用を進めているところであり、的確な課題の把握と経営基盤の強化に取り組んでいます。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。